

福井県議会
福井県・浙江省友好提携30周年訪問団
報告書

○日程：令和5年10月29日（日）～11月1日（水）

○訪問地：中華人民共和国 浙江省、上海市

福井県・浙江省友好提携30周年記念訪問団

福井県議会議長	西本 正俊
福井県議会議員	細川 かをり
福井県議会議員	野田 哲生
福井県議会議会局総務課課長補佐	田中 康晴

訪 問 日 程

日 付	日 程
10月28日 (土)	<p>【西本議長のみ】</p> <p>18:30 小松空港発 ⇒ 羽田空港着 ⇒ ホテル泊</p>
10月29日 (日)	<p>【西本議長】</p> <p>9:10 羽田空港発 ⇒ 11:45 上海虹橋空港着 15:30 魯迅記念公園および上海魯迅記念館 視察 17:40 赤松在上海日本国総領事(大使)から上海情勢ブリーフィング</p> <p>【細川議員、野田議員】</p> <p>8:55 小松空港発 ⇒ 羽田空港着 14:25 羽田空港発 ⇒ 上海浦東空港着</p>
10月30日 (月)	<p>11:30 浙江省外事弁主催レセプション 13:45 西湖および周辺視察 15:30 日華化学(中国)有限公司視察 18:30 国際交流員と意見交換・懇談会</p>
10月31日 (火)	<p>11:00 易煉江中国共産党浙江省委員会書記・王浩浙江省長表敬 12:00 福井県・浙江省友好提携30周年記念レセプション 13:30 浙江省関係施設(図書館、博物館)視察 18:10 福井県・浙江省経済交流促進機構との懇談会</p>
11月1日 (水)	<p>7:30 ホテル発 13:10 上海虹橋空港発 ⇒ 羽田空港着 18:30 羽田空港発 ⇒ 小松空港着 20:10 小松空港発 ⇒ 福井着</p>

魯迅記念公園および上海魯迅記念館 視察

1 日 時 令和5年10月29日(日) 15時30分～16時30分

2 場 所 魯迅記念公園および上海魯迅記念館

3 視察者 西本議長

4 概 要

- ・魯迅は浙江省紹興市出身の文豪である。1904年に仙台医学専門学校（現東北大学医学部）に留学した折、本県あわら市出身の藤野源九郎教授の指導を受けていた。こうした縁もあり、1993年10月に、本県と浙江省が友好提携を締結している。
- ・魯迅公園が立地している虹口地区は、その昔、日本人が多く居留していた場所であり、魯迅もこの付近に居住していた。
- ・魯迅公園は上海市虹口地区にある大規模な都市公園であり、市民の憩いの場である。視察時も、多くの住民が集まり、数十名のグループによるコーラスを行っていたり、水に浸した毛筆で地面に書を書いたりする人々など、多くの来園者であふれ活気に満ちていた。
- ・公園内の魯迅墓は、騒然とした園内の中にあつて森厳とした雰囲気にもまれ、多くの方が魯迅墓にお参りをしていた。なお、墓碑の揮毫は毛沢東元国家主席によるものとのことである。
- ・上海魯迅記念館は、1951年に開館した中華人民共和国建国後初となる人物博物館である（当館パンフレットより）。魯迅の自筆原稿や文献写真が多く陳列されているほか、魯迅の生涯を写真やパネル、蝋人形などにより分かりやすく紹介していた。
- ・展示文献の中には、魯迅と藤野教授との関わりに関するものもあつた。

《訪問議員による所見や提案》

- ・記念館には魯迅を慕う多くの来館者があり、魯迅と藤野先生の交流を通して本県のことを中国の方々に知っていただく機会になるとよいと感じた。



魯迅公園内にある魯迅の墓の前にて



魯迅記念館にて

赤松 秀一 在上海日本国総領事（大使）から上海情勢ブリーフィング

- 1 日 時 令和5年10月29日（日） 17時40分～18時10分
- 2 場 所 上海日本国総領館仮公邸敷地内クラブハウス
- 3 参加者 西本議長、杉本知事、伊万里産業労働部長、近松クレア北京事務所長、長谷川県銀行協会会長ほか
- 4 対応者 赤松 秀一 在上海日本国総領事・大使
江原 健悟 在上海日本国総領事副領事
谷 修造 在上海日本国総領事副領事

5 説明概要

赤松総領事からの説明内容は、以下のとおり。

- ・在上海日本国総領事館が所管している1市4省は人口約3億人でアメリカより多く、このエリアだけでドイツよりもGDPが高く日本と同程度。
- ・日本からの対中投資の約8割が集まり、また日本企業についても拠点の7割がこの地域に集中するなど長江デルタ地帯に進出している。
- ・華東地域は、日本経済や日本の技術への関心が高い地域である。
- ・中国は変化が早く、規制の変更もあり、近年ではグリーン環境規制が年々厳しくなっている。
- ・アメリカは、経済面での対中戦略を、「デカップリング」とはしておらず、安全保障面のリスク低減を図る「デスキリング」だとしている。
- ・上海の税収の3割は外国企業に依存しており、このうちアメリカが最も多いが、日本も外国企業による税収の3分の1を占めているため、中国政府も関心が高い。
- ・なお、中国は中華人民共和国広告法など特有の法規制があり、商取引上のリスクがあることも確か。
- ・2022年は日中国交正常化50年、2023年は日中平和友好条約締結45周年に当たり、これを機に安定的な日中関係を構築することが大事である。
- ・また、中国でも高齢化社会の進展やグリーン経済、低炭素社会実現が課題となっており、同じ課題に直面している日本への関心が高い。
- ・福島原発のALPS処理水の海洋排出については中国国内で抗議があったのは確かであるが、10月5日の2回目の排出時にはこうした抗議活動は静かになっている。杭州アジア大会の開催中も特に大きな問題はなく、落ち着いてきている。
- ・少なくとも、華東地域には日本との緊密な関係が維持されていると考える。

6 意見交換

○西本議長

私は2006年に市議会議員として、2008年には県議会議員として訪中したことがある。今回訪中して、中国の大変目覚ましい発展に驚くとともに、日本で耳にしている情報とは異なっていると感じたことがあり、赤松総領事のお話を伺うことができてよかった。

福井県議会では、議員が日中友好議連を設立しており、私も参加している。県議会としても、日本と中国とがしっかりと友好関係を持ち続けていくことが大事と考えるので、今後ともご指導願う。

○赤松総領事

経済について、日本は自動車立国であるが、自動車にとって今は100年に1度の転換期を迎えている。電気自動車やAI、自動運転といった流れに日本も乗らないといけない。

中国人は日中間には文化の同質性があると感じており、中国の若いCEOは日本とともにやっというという気持ちをもっている。

また、中国は日本に対して、物質の面だけでなく、アニメやドラマ、生活習慣など、アメリカやヨーロッパにないものを日本が持っているとして日本への評価が高い。

西本議長が述べたとおり、中国の状況を正しく知ってもらい、友好関係を構築していくべきだ。

7 質疑応答

Q. 日本銀行は、中国経済について想定以上に悪いとしている。投資先としてのリスクはどうか。

A. 中国の経済成長率の期待値を5%以上と想定している。現在の中国の経済成長は期待するほどではないが、伸びているのは確かである。これほど経済成長が伸びている国はほかにはなく、収益率はアメリカの5～6倍である。最近、不動産の関係で問題となっているが、これは昔からある問題であり、そのことをもって中国経済を語ることはできない。

Q. 不動産価格が高騰している。どこかでバブル経済の崩壊があるのではないか。

A. 中国においてバブルはあったと思うが、3年くらいで収まるであろう。

習近平国家主席は不動産投資を取り締まった。このため、中国人は日本の不動産に投資している。

日本では、不動産への海外からの投資はリスクがあるといわれているが、中国からの投資により日本の不動産市場が支えられた面もある。

中国の土地は国のものであるため、中国人が日本の土地を購入すると、自分の所有物としてとても愛着を持つようだ。

なお、中国では結婚前に不動産を購入するのが当たり前という考えがあったが、不動産価格の高騰により、そういった考えは、今はなくなってきたようだ。

Q. マンションの購入対価は所有権であるのか。

A. 利用権である。なお、政府が取引価格に規制を加えることができる。

8. 記念品贈呈

ブリーフィング終了後、西本議長から赤松総領事・大使に「越前漆器カップ・コースターセット」を贈呈

その後、西本議長ほか参加者は大使公邸にて赤松大使と会食を行った。



赤松総領事・大使によるブリーフィング



赤松総領事・大使との記念撮影

浙江省歓迎昼食会

- 1 日 時 令和5年10月30日(月) 11時30分～13時
- 2 場 所 花家山荘(水仙楼) 宴会場
- 3 参加者 浙江省外事弁室 顧建新主任、陳江風副主任ほか
対外友好協会 邢絵東会長、呉曉東主任ほか
その他 虞希華 元外事弁公室副主任
福井県側 福井県議会(西本議長、細川議員、野田議員)、
県、県上海事務所、経済界、県日中友好協会、
クレア北京事務所、許国際交流員

4 概 要

- ・前日、議長とは別便で到着した細川かをり議員、野田哲生議員、そして現地通訳をお願いしている許翠微国際交流員と、宿泊先のホテルにて合流。
- ・当日朝、浙江省外事弁室から昼食会への招待を受け、急きょ参加が決定。
- ・上海市から浙江省までは、ワゴン車で高速道路を利用して所要時間約3時間の移動。
- ・上海市－杭州間は新幹線も整備されており、車での移動中に並走する新幹線が確認できた。
- ・昼食会会場入り口で、浙江省外事弁室の顧建新主任と議長、両議員が名刺交換。
- ・昼食会では、顧主任と杉本知事がそれぞれ挨拶し、和やかに歓談。浙江省の福井県訪中団への熱烈な歓迎を感じることができた。
- ・昼食会には、県日中友好協会の酒井哲夫会長や山本正雄氏ら元福井県議会議員も参加されており、日中友好協会の訪中時に浙江省側の窓口となっていた虞希華元外事弁室副主任との久々の再開を喜びあっていた。

《訪問議員による所見や提案》

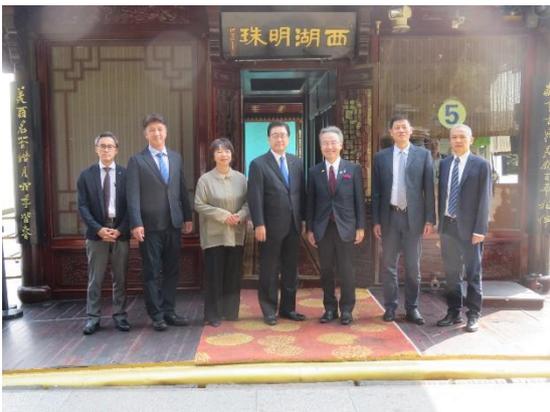
- ・新型コロナウイルス感染症により、こうした民間レベルでの交流がしばらく途絶えていたとのことであり、日中友好交流を今後とも継続すること、そしてこれまでの交流を若い世代に引き継ぐことが大切であることを感じた。

西 湖 視 察

- 1 日 時 令和5年10月30日(月) 13時45分～14時45分
- 2 場 所 西湖
- 3 参加者 福井県議会(西本議長、細川議員、野田議員)、県、県上海事務所、経済界、県日中友好協会、クレア北京事務所、許国際交流員
- 4 概 要
 - ・浙江省政府が手配した遊覧船(貸し切り)に乗船し、西湖を視察。
 - ・西湖は杭州が誇る景勝地の1つであり、2011年に世界遺産に登録されている。
 - ・湖に浮かぶ3本の石灯籠の景色が特に有名であり、中国人民元1元札の裏面には西湖の「三澤印月」の風景が描かれている。
 - ・西湖周辺の小高い丘の上に建つ「雷峰塔」が船上から見え、景観がよい。ガイドによれば、西湖周辺では建設できる建物の高さに上限を設け、景観維持に配慮しているとのことである。また、西湖における漁業も禁止されているとのことである。
 - ・一方で、遠方には杭州中心地の高層ビル群が見え、急速に発展する中国の様子を伺うことができた。

《訪問議員による所見や提案》

- ・経済発展著しい中国において、名勝地の景観維持への配慮が行われていることを知り、日本や福井県においてもこうした配慮の必要性を感じた。



遊覧船乗船前に記念撮影



遊覧船内からの西湖の眺望

日華化学（中国）有限公司 視察

- 1 日 時 令和5年10月30日（月） 15時30分～16時30分
- 2 場 所 日華化学（中国）有限公司（浙江省杭州市）
- 3 参加者 福井県議会（西本議長、細川議員、野田議員）、県、県上海事務所、経済界、県日中友好協会、クレア北京事務所、許国際交流員
- 4 対応者 李 晶日 日華化学（中国）有限公司董事総経理
南部 真一 日華化学（中国）有限公司董事副総経理
澤崎 祥也 日華化学(株)取締役執行役員 管理部門長
酒井 美苗 日華化学(株)化学品部門界面科学研究所
イノベーション推進担当リーダー

5 概 要

まず、澤崎日華化学(株)取締役信仰役員から、日華化学（中国）有限公司の概要について説明があった。その後、2班に分かれ、工場内の見学を行った。送迎時には、多くの社員の皆さんにご対応を頂いた。

○澤崎 日華化学(株)取締役執行役員の説明概要

- ・1995年に杭州電化廠との合弁会社「杭州日華化学有限公司」を設立し、その後、2002年に「浙江日華化学有限公司」を杭州電化廠と設立。
- ・2003年には第一工場、2008年には第二期工場が竣工。
- ・2017年に、「日華化学研発（上海）有限公司」と研究開発機能を一体化し、「日華化学（中国）有限公司」を設立。
- ・主に繊維加工用界面活性剤や半導体用特殊化学品を製造・販売
- ・原料を約1,400トン収容できる倉庫があり、原料の約7割は中国国内から調達
- ・従業員約200名のうち、150名余りが杭州で働き、上海と青海で約50名が働いている
- ・2008年、国家ハイテク企業に認定、2022年には国家グリーン工場に認定
- ・中国国内には、他に上海に研究・営業を行う分公司、青島には営業を行う分公司がある。

○工場見学

- ・見学した工場では、半導体基板の潤滑剤を製造
- ・見学した倉庫には薬剤1,100トン収容でき、毎日100トン程を出荷。出荷は夕方が多く、当日注文を受け、その日のうちに出荷するシステム
- ・2022年に倉庫管理システムを導入し、バーコードで読み込むことで管理。システム導入により、在庫不足や出荷遅れを防止できたとのこと。

- ・特許は世界で通用するものや中国国内で通用するものを取得している。

《訪問議員による所見や提案》

- ・日華化学（中国）有限公司は設立後 20 年が経過し、約 200 人を雇い、浙江省のみならず上海や青島にも分公司を設置するなど、中国でのビジネスを確立している。
- ・日本人は 5 名とのこと。中国人を雇用して素晴らしい成果をあげていると感心した。
- ・まさに県内企業の中国進出の成功事例であり、今後の県内企業の進出におけるモデルケースである。
- ・赤松在上海日本国総領事のお話にもあったように、中国の日本の技術への関心は高く、優れた技術力を有する県内企業にとっても大きなビジネスチャンスになりうると感じた。
- ・日華化学（中国）有限公司は、原料の約 7 割を中国国内から調達し、中国で販売しているとのことで、できるだけ米中貿易摩擦の影響を受けないよう、市場対応も世界情勢を見ながら変革していることにも驚いた。
- ・米中対立は長期化する見込みが高いため、福井県とのハイレベルな交流や、浙江省の地元企業との信頼を積み上げ、中国ビジネスの強みをいかに福井県へ派生させてもらうかを考えていく時期であると考える。



澤崎日華化学(株)取締役から会社概要の説明



視察後の記念撮影

歴代国際交流員との意見交換・懇談会

- 1 日 時 令和5年10月30日(月) 18時30分～20時45分
- 2 場 所 花家山荘 宴会場
- 3 参加者 歴代国際交流員 7名
福井県議会(西本議長、細川議員、野田議員)、県、県上海事務所、経済界、クレア北京事務所、許国際交流員

4 概 要

- ・杉本知事のあいさつに続いて、歴代の福井県国際交流員が、現在の職業や福井県派遣時の思い出話などを含めて自己紹介
- ・西本議長は、閉会に当たり、「今日は歴代の国際交流員の皆さんと楽しく懇談でき、大変有意義であった。祖国の各方面で活躍されている様子や、福井県の思い出話などを伺うことができ、福井県民の一人として大変うれしい。今後ともご活躍いただくとともに、福井県の宣伝大使として、福井県や日本のよさをご家族、ご友人に伝え、多くの中国の方々にお越しくくださるようお願いしたい。」と中締めあいさつを行った。
- ・歴代の国際交流員による福井県滞在時の思い出話を通して、福井県への熱い思いが伝わった。北陸新幹線の県内延伸については、「福井に行きやすくなる。ぜひ行ってみたい」と口々に語ってくれた。
- ・帰国後、日本への中国企業の進出に関する仕事に就いている方や浙江省政府の職員として日本との窓口を担っている方もいて、ビジネス等で日本にも頻繁に来られているとのことであった。

《訪問議員による所見や提案》

- ・歴代国際交流員との交流は和やかなものであった。福島原発の汚染水問題では、中国は拳を上げすぎて、降ろすのが大変との声が上がった。関係修復を望む。
- ・福井県の宣伝大使として、北陸新幹線も開業することから、福井県の観光地などを家族、友人に伝え、多くの中国の方々に伝えて欲しいと思った。
- ・派遣当時の県担当課の職員と今でも頻繁にやり取りしている方もいて、福井県に対する好意を感じた。こうしたネットワークは今後の本県と浙江省や中国との交流拡大に必要なものであり、定期的な交流を重ねていくべきだと考える。



意見交換・懇談会参加者による記念撮影

易煉江 中国共産党浙江省委員会書記、王浩 浙江省長 表敬
および歓迎レセプション

- 1 日 時 令和5年10月31日(火)
書記・省長表敬 : 11時00分～11時45分
歓迎レセプション : 12時00分～13時00分
- 2 場 所 西湖国賓館および館内宴会場
- 3 参加者 福井県議会(西本議長、細川議員、野田議員)、県、県上海事務所、在上海日本国総領事館、経済界、県日中友好協会
- 3 対応者 易 煉江 中国共産党浙江省委員会書記
王 浩 浙江省長 ほか

4 概 要

当初は王浩省長のみでの予定であったが、急きょ易煉江書記も出席することとなった。許国際交流員によると、書記と省長が同時に出席するのは珍しいとのことである。

易書記から歓迎のあいさつの後、杉本知事、西本議長があいさつを行った。内容は以下のとおり。

- 易 煉江 中国共産党浙江省委員会書記あいさつ
 - ・浙江省と福井県との友好提携30周年を記念し、また、杭州アジア大会・アジアパラ大会が成功裏に閉幕した際に、福井県から訪中団を受け入れることができることを喜び、歓迎する。
 - ・日中両国は今年、中日平和条約締結45周年を迎え、過去を受け継いで未来への道を歩んでいる。平和、友好、協力は我々のテーマである。
 - ・昨年11月、習近平国家主席は岸田総理と会談し、「新時代の要求にふさわしい日中関係を構築したい」と述べた。
 - ・また、習国家主席は10月24日の「親誠恵容」周辺外交理念10周年記念国際シンポジウムに書面でメッセージを寄せ、地域諸国と連携し、平和で安定した、繁栄し、美しい、友好的に共生するアジアの構築」を提言した。これは、福井県と浙江省の提携の根拠を提示するものだ。
 - ・習主席が浙江省党書記を務めているときに、浙江省の現状に合わせて省域発展の全面的企画とトップデザインである「八八戦略」を策定し、浙江省の発展の方向性を定めた。
 - ・20年来、浙江省は「八八戦略」を実践して飛躍をとげ、資源は少ないものの経済で大きく発展した。
 - ・GDPは7.8兆人民元となり、全国第4位。800万人の商人が海外投資を行

っている。また、6.5人のうち1人が社長であり、19人のうち1人が自分の会社を持っている。

- ・浙江省は都市部と農村部との所得格差は1.90倍にまで縮小し、都市部と農村部の格差のバランスが全国一取れている。
- ・先日、杭州でアジア大会、パラ競技大会が開催され成功を収めた。5年後の開催地の名古屋市にバトンタッチしたところであり、よい大会になることを願っている。
- ・浙江省と福井県の友情の葉は生い茂り、実りをもたらしている。各分野で多くの交流が行われている。福井県と手を合わせて、友好交流が末永く続くことを願っている。
- ・友好提携30年を機にこれから交流をさらに強めたいと願っており、本日、互いの友好と相互理解を深めたいと考える。
- ・今後は、交流をさらに強化すること。両省県のトップレベルの相互訪問を頻繁に行い、相互友情を醸成していきたい。そして、経済、貿易の面でも協力し、電子商取引、スマートシティなどの分野の協力もより活性化し、双方の互惠関係を強化したい。
- ・また、サマーキャンプなどを継続し、青少年の交流を進めるべきである。
- ・今の時期、浙江省はとてもよい季節である。福井県の皆さんに来ていただけてうれしい。食や観光、郷土文化を楽しんでほしい。
- ・結びに、浙江省と福井県の友情が末永く続くことを願う。

○杉本知事あいさつ

- ・杭州アジア大会のご成功をお祝いする。
- ・今回が福井県知事となって初めての海外出張である。浙江省の皆様への歓迎に感謝申し上げる。
- ・福井県と浙江省は、1993年の友好提携以来、経済、文化、教育などの幅広い分野で交流を進め、多くの成果を収めてきた。
- ・浙江省杭州市は、かつて越の国であり、福井県も同じ越前の国である。昔ながらの縁を感じる。
- ・これまでも、学生の留学・研修や企業での技術研修、国際交流員の受入れなどで、1,000人以上の往来があった。中国は、本県にとって最大の貿易相手国で、中国には県内企業が約100社、浙江省には14社が製造または販売拠点を設けている。新型コロナウイルス感染症流行の際にも、双方が医療物資をお送り合うなど、互いに助け合い、ともに困難を乗り越えてきた。
- ・国レベルでは、必ずしも良好とはいえない状況であるが、こうした時こそ、福井県と浙江省といった地方間における経済や民間による交流が重要であり、これからもさらに交流を深めていきたい。
- ・北陸新幹線が来年3月に敦賀まで延伸し、上海—小松便の複便も決まっています。両県省の距離が近くなってくる。まずは観光で浙江省の皆様へ福井県に

訪れていただきたいし、浙江省のSNSなどを活用して、浙江省の方に福井県の観光情報を紹介していただきたい。

- ・世界3大恐竜博物館の一つである、福井県立恐竜博物館は今年7月14日にリニューアルし、9m×48mの3面張りのモニターに実物大の恐竜を写すことができる。
- ・西湖を視察し、大変美しいと感じた。福井県にも、三方五湖という五つの色の違う湖があり、風光明媚である。
- ・今後の交流を具体化していくために、浙江省代表団の皆様が福井に来られた際には、これからの両県省の発展に向け、覚書を締結することを提案したい。

○西本議長あいさつ

- ・このたび、浙江省友好30周年に当たり、同僚議員2名と参加した。易書記、王省長とお会いでき光栄であり、浙江省の歓迎に感謝する。また、杭州アジア大会、アジアパラ競技大会が成功に終わり、おめでとうございます。
- ・日中両国は「一衣帯水（いちいたいすい）」の隣国であり、千数百年の長きにわたり友好の歴史を有している。また、1972年の日中国交正常化後は経済、文化等の交流が推進され、両国の発展はアジアだけでなく世界の平和と繁栄に大きく寄与している。
- ・現代では、社会経済情勢のグローバル化に伴い、日本海沿岸諸国の相互の交流が活発化するなど新しい段階を迎え、福井県と浙江省は、ともに環日本海交流の拠点としての役割が期待されている。
- ・こうした中、福井県と浙江省が1993年に友好提携協定を締結した後、市町レベルや民間同士など、多方面で友好交流の輪が広がり、このたび、めでたく30周年の節目を迎えられたことは、誠に意義深く、易書記を初め、これまで関係してこられた全ての皆様方のご尽力、ご厚情に対し、深く敬意と感謝を申し上げます。
- ・今や、中国は日本にとって最大の貿易相手国であり、欠かすことのできないパートナーである。国際情勢に伴い、日中関係も幾ばくかの課題に直面しているが、こうした状況だからこそ積極的な対話・コミュニケーションが必要であり、今回の訪問は相互理解と友好親善を深める絶好の機会であると考えます。
- ・北陸新幹線の福井県内延伸などの好機も活かし、今後とも、経済交流はもちろんのこと、文化、教育、スポーツ等の各分野において地域レベルでの交流の促進が図られることを大いに期待している。
- ・我々福井県議会としても、「福井県議会日中友好議員連盟」が中心となり、福井県と浙江省ならびに日中両国の交流と発展に寄与するため、全力で取り組んでいく所存であるので、今後とも、ご支援、ご協力をお願いする。

○易書記からの返答

- ・知事の提案に賛同する。ハイレベルの相互訪問を実施したい。今後、経済・文化交流などを具体的に進めていきたい。
- ・議長のあいさつに感激した。交流を活発にすることで、中日両国の関係が良くなることを祈念する。

○歓迎レセプション

- ・表敬終了後、王浩省長出席のもと、歓迎レセプションが開催された（易書記は欠席）。
- ・活発な意見交換が行われたり、両県省関係者が記念写真を撮影したりするなど、終始和やかな雰囲気、浙江省政府による熱烈な歓迎ぶりがひしひしと伝わるレセプションであった。

《訪問議員による所見や提案》

- ・今回は浙江省人民代表大会との交流はかなわなかった。浙江省からは、次回ぜひ福井県議会と人民代表大会との交流を、との打診をいただいたところであり、ぜひ実現したい。
- ・日中の関係は、国レベルではあまり良くない状況だが、易書記や杉本知事の挨拶では、福井県と浙江省の地方間・住民間交流は重要と、交流強化で一致している。地方レベルで、具体的に交流強化できるなら好ましいことと感じた。
- ・書記と省長が同時に出席したことから、中国政府の福井県への想いと熱い歓迎ぶりが伝わってきた。
- ・易書記は「浙江省と福井県の友情の葉は生い茂り、実りをもたらしている。各分野で多くの交流が行われている。友好提携 30 年を機にこれから交流をさらに強めたいと願っている」とまで期待を示していただいた。
- ・北陸新幹線の福井県までの開業などの好機も活かし、今後も、福井県と浙江省が経済交流、文化、教育、スポーツ等の各分野において地域レベル同士の交流が図られることを期待していきたい。



易煉江書記、王浩省長表敬



表敬後の記念撮影

浙江省博物館、浙江図書館 視察

- 1 日 時 令和5年10月31日（火） 13時30分～15時30分
- 2 場 所 浙江省博物館、浙江図書館
- 3 参加者 福井県議会（西本議長、細川議員、野田議員）、県、県上海事務所、在上海日本国総領事館、経済界、クレア北京事務所、許国際交流員

4 概 要

○浙江省博物館

- ・浙江省博物館は1929年に開館した浙江省最大の博物館で、2023年8月にリニューアルしたばかり。歴史文物をメインにした総合的な人文科学博物館であり、10万点以上の収蔵品がある。
- ・浙江博物館学芸員から、古代の土器や墓等、浙江省の歴史的遺物に関する説明を受けた。
- ・歴史文物の実物展示はもちろんのこと、ミニチュアや当時の住民が食べた貝殻の堆積物の標本、映像やデジタルサイネージを用いた解説など、展示上の工夫が随所に見られ、とても見ごたえのある内容であった。



博物館内の展示の様子

○浙江図書館

- ・浙江図書館は中国で最も早く設立された地方公共図書館の1つであり、福井県立図書館と1998年に友好提携をしている。
- ・2023年8月にオープンした新館の蔵書数は約32万冊で、座席数は約3,000席ある。
- ・浙江省図書館長および学芸員による館内案内があった。
- ・建物のロビーは最上階まで吹き抜けとなっており、天井には映像が映し出され、大変ユニークな建物となっている。
- ・また、ICTが発達している中国らしく、本の貸出しを画面上で行えるシステムも図書館内に設置されていた。
- ・建物はガラスが多く用いられていて開放的であり、また書棚も余裕をもって設置されており、快適な閲覧空間となっていた。

《訪問議員による所見や提案》

- ・10万平米の広大な博物館・圧倒的冊数の図書館に圧倒された。建物もダイナミックなデザイン・設計で、歩いているだけでもため息が出る。
- ・日本の国会図書館は、登録して資料を出してもらったことも多いが、並んだ書籍から、興味深い資料を探す楽しみも大事と思った。
- ・浙江博物館の学芸員から、浙江省の歴史的遺物に関する説明を受けた。驚いたのは、映像やデジタルを巧みに使用した解説をするなど展示上の工夫が見られ、とても見ごたえのある内容であった。
- ・図書館は昨年8月に開設した新館で、建物のロビーは最上階まで吹き抜けとなっており、図書館と感ぜさせないその規模の大きさに大変驚いた。
- ・天井には映像が映し出され、大変ユニークな建物となっている。
- ・図書の貸し返却を画面上で行えるシステムも設置されていて、日本もすぐに取り入れるべきICT技術だと感じた。



図書館のロビー





図書館の館内の様子

図書貸出し用の端末



浙江図書館前での記念撮影

浙江省経済交流促進機構との懇談会

- 1 日 時 令和5年10月31日（火） 18時10分～19時50分
- 2 場 所 浙江世貿君蘭大飯店
- 3 参加者 福井県議会（西本議長、細川議員、野田議員）、県、経済界、
県上海事務所、クレア北京事務所、許国際交流員
- 4 概 要
 - ・主催は浙江省経済交流促進機構（県側の事務局は県商工会議所連合会）
 - ・同機構は、福井県と浙江省の友好提携を受け、経済交流を目的とした窓口を一本化し、両県省の各企業の交流、情報の収集や提供、進出のための斡せん・指導などの具体的要求について、機動的かつ効率的に対応することを目的に、平成6年7月に設置された。
 - ・懇談会冒頭、蒋珍貴副秘書長からあいさつ。
 - ・浙江省側からは浙江省政府の経済関係の部署や地元の経済団体等が出席。
 - ・浙江省の企業の進出先として福井県が持つ北陸新幹線開業や高規格道路の整備が進んでいる状況の説明や、技術力を持った県内企業の紹介の依頼、浙江省教育部門からの福井県の学校との交流の提案など、幅広い分野での交流について率直な意見交換がなされた。

《訪問議員による所見や提案》

- ・和やかに懇談会が進んだ。隣国同士、お互いの違いを認め尊重しあって、経済発展していけたらと思う。
- ・浙江省の企業の進出先として、福井県への北陸新幹線開業や高規格道路の整備が進んでいることに魅力を感じているので、今後は技術力を持っている福井県内企業の紹介の依頼や、青少年交流を見据え、学校同士の交流の提案など、前向きな意見交換で貴重な時間を過ごすことができた。



蒋副秘書長との記念撮影



福井県の現状について意見交換

浙江省出発時の顧外事弁公室主任の見送り

1 日 時 令和5年11月1日（水） 7時30分

2 場 所 浙江省宿泊所（杭州海華大酒店）

3 概 要

- ・宿泊所出発に当たり、浙江省外事弁公室の顧建新主任が見送りに来られた。

《訪問議員による所見や提案》

- ・顧主任がサプライズでお見送りにきていただいたことから、今回の福井県訪中に対する浙江省政府の歓迎ぶりを垣間見ることができた。
- ・コロナ禍等で国を超えた交流が難しかった中で、福井県と浙江省とが友好交流の灯を消すことなく、継続していく契機として、今回の訪中の意義は大変大きいものとする。



○訪中全体を通しての訪問議員による所見や提案

- ・中国はここ10年間で様変わりしている。例えば、車はEV車が増え、バイクもEVバイクが増えている。
- ・上海ではナンバープレートを買わなくてはならないのだけれど、青いガソリン車用のプレートは200万円とのこと。こういう事情の元、日本車は売れないそうで、残念なことである。こうした強引とも思える民間誘導策は、中国ならではと感じた。